

平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名  
 コード番号 3808 URL http://www.okwave.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	1,161	△1.4	15	△68.1	42	△11.8	37	42.6
28年6月期第2四半期	1,178	△15.8	48	—	48	—	26	—

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 4百万円(△84.0%) 28年6月期第2四半期 26百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	4 29	4 28
28年6月期第2四半期	3 01	3 01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	1,710	1,387	80.4
28年6月期	1,787	1,382	76.6

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 1,374百万円 28年6月期 1,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00
28年6月期	—	0 00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日~平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	3.7	180	16.1	180	26.9	100	36.1	11 46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期2Q	8,730,100株	28年6月期	8,728,300株
② 期末自己株式数	60株	28年6月期	60株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,729,709株	28年6月期2Q	8,717,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①全般的概況

当第2四半期連結累計期間(平成28年7月1日～平成28年12月31日)において、エンタープライズソリューション事業ならびに多言語CRM事業の売上高は、前期から安定的な成長を遂げ、好調に推移しております。ソーシャルメディア事業においても、今期より販売を開始したサポート分野向けサービスの売上高が堅調に推移しています。また、新たにAIサービスにおいても売上を計上することができましたが、外的環境の影響による広告売上の減収を吸収しきれず、連結の売上高は1,161,685千円(前年同期比1.4%減)と前期比微減となりました。

営業利益は期首予想どおりの15,389千円(前年同期比68.1%減)に推移、また円安の進行に伴い為替差益が28百万円発生したことで、経常利益は42,864千円(前年同期比11.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37,475千円(前年同期比42.6%増)となりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	1,161,685	△16,895	△1.4
営業利益	15,389	△32,871	△68.1
経常利益	42,864	△5,754	△11.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37,475	11,200	+42.6

## ②事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

## ・ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、日本最大級のQ&Aコミュニティ「OKWAVE(オウケイウェイヴ)」のほか、Q&Aから派生した複数のサービスを運営しています。

売上高におきましては、「OKWAVE」を活用した企業の顧客サポートを支援する法人向け新サービスの収益が堅調に推移しています。また、企業向けのAIサービスの受注もしております。一部サービスの外的環境の変化があったことから、前期比では減収となっておりますが、上期の当事業売上高予想に対する進捗率は45.4%とほぼ予定どおりの進捗となっております。今後も「OKWAVE」を活用した企業の顧客サポート支援サービスの積極的な販売、ならびにAIサービスを販売していきます。

利益におきましては、事業統合により費用の圧縮を実現しておりますが、米国子会社OKWAVE INC.にて、AI等を活用した先進的な新規サービスへの開発投資を行っていることから、前年比減益となっております。

以上の結果、業績は次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	199,966	△64,309	△24.3
セグメント損失(△)	△46,869	△24,503	—

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ（よくある質問）を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBIZ.（オウケイビズ）」等、企業向けのソリューションを提供しています。また当事業のビジネスモデルは、「OKBIZ.」導入に際する初期構築費と月額利用料ならびに利用量に応じた従量課金にて構成しております。

当期におきましては、大型イベントへの出展等のマーケティング施策等が寄与し、前期より順調に導入サイト数を積み重ねていることから、月額収入は前年同期比9.0%増と固定収入に厚みが増しております。また当期も引き続き、新規獲得が順調に推移していることから、当事業全体の売上高は7.2%の増収となりました。

利益におきましても7.5%の増益を達成しています。

以上の結果、業績は次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	633,177	42,777	+7.2
セグメント利益	321,542	22,362	+7.5

・多言語CRM事業の概況

多言語CRM事業は、連結子会社の㈱ブリックスにて運営している24時間365日体制の多言語コンタクトセンターです。

当期におきましては、訪日外国人客の増加や東京五輪開催決定を追い風に、地方自治体や医療分野などの案件が増加しております。これにより多言語コンタクトサービスの基幹事業である電話通訳案件が堅調に伸びております。また大型開発案件が寄与したことから、売上高は前期より増収となりました。

また利益におきましても、前期、不採算サービスからの撤退や費用の見直しを徹底したことから、大幅改善いたしました。

以上の結果、業績は次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	328,540	4,636	+1.4
セグメント利益	60,825	40,596	+200.7

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (ア)資産

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、主に「現金及び預金」の減少により1,710,617千円（前連結会計年度末比76,478千円減少）となりました。

#### (イ)負債

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は、主に「前受金」、「買掛金」及び「未払金及び未払費用」の減少により323,057千円（前連結会計年度末比81,190千円減少）となりました。

#### (ウ)純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に「利益剰余金」の増加により1,387,560千円（前連結会計年度末比4,712千円増加）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ160,042千円減少し、714,793千円となりました。また、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前受金及び仕入債務の減少があったものの、減価償却費の計上及び売上債権の減少により、40,666千円の収入となりました。（前年同四半期は83,190千円の収入）

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産取得、投資有価証券の取得及び貸付けによる支出により、175,107千円の支出となりました。（前年同四半期は64,334千円の支出）

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金返済による支出により、2,926千円の支出となりました。（前年同四半期は399千円の収入）

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものはありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	874,835	714,793
受取手形及び売掛金	298,167	266,566
仕掛品	23,947	—
その他	76,062	129,747
貸倒引当金	△886	△828
流動資産合計	1,272,125	1,110,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	73,446	73,546
減価償却累計額	△58,150	△59,719
建物及び構築物(純額)	15,295	13,827
工具、器具及び備品	374,718	395,642
減価償却累計額	△312,733	△326,771
工具、器具及び備品(純額)	61,984	68,870
有形固定資産合計	77,280	82,697
無形固定資産		
ソフトウェア	20,624	58,780
ソフトウェア仮勘定	23,917	14,744
その他	14,073	14,601
無形固定資産合計	58,615	88,126
投資その他の資産		
投資有価証券	174,141	246,341
その他	267,611	244,973
貸倒引当金	△62,678	△61,800
投資その他の資産合計	379,074	429,514
固定資産合計	514,970	600,338
資産合計	1,787,096	1,710,617
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	45,388	28,654
未払金及び未払費用	172,630	158,019
未払法人税等	16,944	13,056
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	7,200	7,200
その他	104,683	62,278
流動負債合計	347,847	270,209
固定負債		
長期借入金	23,600	20,000
資産除去債務	32,800	32,847
固定負債合計	56,400	52,847
負債合計	404,247	323,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,007	983,473
資本剰余金	952,807	953,273
利益剰余金	△562,273	△524,798
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,373,505	1,411,912
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,604	△37,423
その他の包括利益累計額合計	△4,604	△37,423
新株予約権	12,047	11,572
非支配株主持分	1,900	1,498
純資産合計	1,382,848	1,387,560
負債純資産合計	1,787,096	1,710,617



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,178,580	1,161,685
売上原価	669,133	596,870
売上総利益	509,447	564,814
販売費及び一般管理費	461,186	549,425
営業利益	48,260	15,389
営業外収益		
受取利息	407	713
貸倒引当金戻入額	531	877
為替差益	—	28,708
雑収入	1,154	406
営業外収益合計	2,092	30,706
営業外費用		
支払利息	451	360
関係会社整理損	160	—
為替差損	1,044	—
支払手数料	—	2,600
雑損失	78	269
営業外費用合計	1,734	3,230
経常利益	48,619	42,864
特別利益		
新株予約権戻入益	—	216
特別利益合計	—	216
特別損失		
固定資産除却損	407	109
減損損失	14,838	1,720
特別損失合計	15,245	1,829
税金等調整前四半期純利益	33,373	41,251
法人税、住民税及び事業税	7,098	4,177
法人税等合計	7,098	4,177
四半期純利益	26,274	37,073
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△401
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,274	37,475

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	26,274	37,073
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	248	△32,818
その他の包括利益合計	248	△32,818
四半期包括利益	26,522	4,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,522	4,656
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△401

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	33,373	41,251
減価償却費	46,547	35,757
株式報酬費用	2,181	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,008	△935
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△3,000
受取利息及び受取配当金	△407	△713
支払利息	451	360
為替差損益(△は益)	467	△13,895
新株予約権戻入益	—	△216
固定資産除却損	407	109
減損損失	14,838	1,720
売上債権の増減額(△は増加)	40,917	31,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,239	23,947
前払費用の増減額(△は増加)	△11,313	△9,156
未収入金の増減額(△は増加)	65	459
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,101	△16,733
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	2,534	△2,720
未払消費税等の増減額(△は減少)	△39,643	△4,385
前受金の増減額(△は減少)	11,378	△35,141
預り金の増減額(△は減少)	7,222	4,694
その他	△3,401	△2,926
小計	86,271	50,077
利息及び配当金の受取額	234	1,134
利息の支払額	△449	△359
法人税等の支払額	△3,082	△10,186
法人税等の還付額	216	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	83,190	40,666
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,454	△34,128
無形固定資産の取得による支出	△25,608	△49,419
投資有価証券の取得による支出	—	△72,200
関係会社の整理による収入	1,205	—
貸付けによる支出	△15,000	△22,200
貸付金の回収による収入	1,062	1,038
差入保証金の差入による支出	△20,331	—
差入保証金の回収による収入	990	3,000
その他	△1,198	△1,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,334	△175,107

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△3,600	△3,600
株式の発行による収入	4,000	673
配当金の支払額	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	399	△2,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	△219	△22,674
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,036	△160,042
現金及び現金同等物の期首残高	862,630	874,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	881,666	714,793

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープライズ ソリューション 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	264,276	590,400	323,904	1,178,580	—	1,178,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,500	206	1,706	△1,706	—
計	264,276	591,900	324,111	1,180,287	△1,706	1,178,500
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△22,365	299,180	20,229	297,043	△248,782	48,260

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては14,838千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープライズ ソリューション 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	199,966	633,177	328,540	1,161,685	—	1,161,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,500	19	1,519	△1,519	—
計	199,966	634,677	328,560	1,163,204	△1,519	1,161,685
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△46,869	321,542	60,825	335,498	△320,109	15,389

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,720千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、経営の合理化及び事業の効率的運営を図るため、管理区分の見直しを行い、従来の「ナレッジマーケット事業」を「ソーシャルメディア事業」として再編し、一部のサービスを現在の運営実態に合わせ「エンタープライズソリューション事業」から「ソーシャルメディア事業」に移管しております。これに伴い、報告セグメントを4区分から「ソーシャルメディア事業」「エンタープライズソリューション事業」「多言語CRM事業」の3区分としております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。